

2024 年 **3** 月 つるがしま里山サポートクラブ活動案内

令和 6 年 2 月 29 日(木)

小澤邦彦

令和 5 年度のクラブ活動日は 60 回で月平均 5 回となります。2 月末時点で会員平均 1 回当たり参加者数は 9.2 人でした。これだけ多くの会員の皆様が熱心に参加されましたことに感謝します。次年度も楽しく参加されますようよろしくお願いします。

◎ 太田ヶ谷の森整備

- ☆ 活動日時 : **3 月 3 日 (日) 9 時~12 時**
- ☆ 場所 : 太田ヶ谷の森
- ☆ 参加目的・意義
関水金属より贈与された樹木 10 本(カツラ:6 本、クヌギ:4 本)を西側の空き地に移植する。太田ヶ谷の森作りグランドワークとの共同作業。
- ☆ 当クラブの具体的実施事項・内容
 - 源流の会がユンボ、2 トントラックを準備するので移植作業を補助する。
※ 今回でサッカー場北に仮植えされていた樹木の移植作業は完了する。
 - 作業状況により下記 3 月 23 日の整備内容の一部を実施する。
- ☆ 集合場所 : 蓮池横の広場
- ☆ 駐車場所 : 野球場横の駐車場
- ☆ 昼食 : おにぎり+コーヒーを用意します。
- ☆ 総括責任者 : 小沼

◎ 藤小焼き芋体験と植樹

- ☆ 活動日時 : **3 月 8 日 (金) 9 時~13 時**
※ 8 日が雨天の場合は、11 日(月)に順延します。
- ☆ 場所 : 藤金の森
- ☆ 参加目的・意義
藤小 3 年生の自然学習・体験の一環としてとして焼き芋づくりと小彼岸桜植樹を森で実施する。
- ☆ 当クラブの具体的実施事項・内容
(焼き芋)
 - 焼き芋ドラム缶準備(5 台:東市民センター2, 逆木倉庫 2, シルバー1)
※ 焼き芋は 3 学年 78 名+父兄分で計 100 人分をつくる。

- ※ 焼き芋、新聞紙、アルミは藤小で準備する。
- 会員は9時から熾火を準備する。
- ※ 生徒たちは10時30分に到着する予定
- ※ 藤金の森飛び地の竹林の竹材を搬送し熾火をつくる。竹材が不足する場合は、五味ヶ谷の森より搬送する。
- ※ 子ども達に水で濡れた新聞紙に包み、アルミを巻く作業をしてもらう。
- ※ 焼き芋は細く、小さいものを準備する。(30分～40分で焼ける予定)
- ※ 焼けた焼き芋は森内で食す。

(植樹)

焼き芋を焼いている間に圏央道の道路沿いに小彼岸桜の植樹をする。

- 父兄又は会員で植樹する穴を掘る。30センチ程度を4か所
- 子ども達にシャベルで土を入れる作業をさせる。

(その他)

子ども達から当クラブへ感謝状の贈呈があるとのこと。

- ☆ 集合場所 : 藤金の森内の広場
- ☆ 駐車場所 : 藤小東北側駐車場
- ☆ 総括責任者 : 吉井

埼玉県ホームページに学校教育の特色ある体験活動の紹介(令和5年度)として藤小学の活動が掲載されています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/249319/we08.pdf>

◎ 福祉ベンチ設置

3月中旬頃、シルバー倉庫に保管してある2個のベンチをほっこり村へ搬送し、設置する。日程について関係機関と調整中なので決定次第連絡します。

◎ 小彼岸桜整備

- ☆ 活動日時 : **3月23日(土) 9時00分～12時**
- ☆ 場所 : 太田ヶ谷の森
- ☆ 当クラブの具体的実施事項・内容
 - 道路沿いに植樹してある小彼岸桜周辺の草刈り。
 - 不要枝の剪定、シュロ縄の調整
 - 4本(切断木:2本、折れ木:2本)の小彼岸桜の入れ替え作業
 - ※ サッカー場トイレ北の苗床より移植する。
- ☆ 集合場所 : 蓮池横の広場
- ☆ 駐車場所 : 野球場横の駐車場
- ☆ 昼食 : おにぎり+コーヒーを用意します。
- ☆ 総括責任者 : 柳川、橋本

令和5年度

ふじ

鶴ヶ島市立藤小学校

自然体験



第3学年

特色

- 地域の人々との交流を通して、自然を守る取り組みとその思いを知ることや自然を守ることの大切さを感じ取り、自分たちにできることを考えることを目標に体験学習を行った。「市民の森」に行き、里山サポートスタッフさんをゲストティーチャーに迎え、森の木々の説明、川や川に住む生き物の話、森を守る大切さについて学んだ。そのあと川遊び、ハンモック体験、竹細工、流しそうめんなど保護者の協力も得て、体験的な学習を行うことができた。

児童の感想

- 里山サポートスタッフさんの話を聞いて森の大切さがわかった。
- 自分の作った器で食べた流しそうめんは格別おいしかった。
- 川が意外ときれいだったけど魚がとれなかった。
- ハンモックで友達と一緒にゆらゆらしてねころんで気持ちよかった。

成果

- 子供たちの森を大切にしたいという思いを育むことができた。
- 森を守りながらできることは何かを考え自分たちの願いを込めて「植樹」を3月に予定している。
- 森の植物、川に住む生き物などの興味関心を高めることができた。

以上